

奥多摩・馬頭刈山 (まずかりやま)

(メンバー) 高橋、八木、古屋、鈴木 (忠)、横山、佐々木、柏木、加藤

令和元年 (2019年) 12月14日 (土) 快晴

武蔵五日市駅集合 8:50 武蔵五日市駅前バス停発 9:00 (西東京バス) 和田向バス停 9:17

和田向バス停 9:20 (デマンドバス) 泉沢登山口 9:25 登山開始 9:35

馬頭刈尾根 11:15 馬頭刈山 11:35~12:05 高明山 12:35 軍道分岐 12:55

瀬音の湯 14:15~15:16 (西東京バス) 武蔵五日市駅バス停 15:32

武蔵五日市駅 15:55 (JR五日市線) 拝島駅 16:15~ (反省会) ~解散 18:00

本日の参加者8名が武蔵五日市駅前バス停に集合する。天気は快晴だ。バス待ちの登山者が大勢である。バスは満員で出発する。

和田向バス停に到着し、準備をしていると「車に乗らないか？」とタクシー運転手らしきおじさんに声を掛けられる。渋っていると値段は一人1000円という。火、木、土のみ運行している檜原村営のデマンドバス「やまびこ号」であった。ありがたく乗ることにする。舗装道路のどん詰まりまで送ってもらう。

ここで登山準備をし、馬頭刈山への道標に従って出発する。泉沢に沿った登山道に行く。少々荒れた道だ。たぶん登山者も少ないのだろう。



(泉沢沿いに登る)



(針葉樹林帯の中を登る。しっかりした登山道だ)

しばらく登って行けども予定の泉沢尾根に取り付かない。どうやら茅倉尾根を登っていることに気が付く。GPSで位置を確認する。昭文社の地図や国土地理院の2万5千の地図にも載っていない登山道があるようだ。しかし、道標はしっかりあるし、登山道もしっかりしているのでそのまま行くことにする。原因はどん詰まりまでデマンドバスを送ってもらい、泉沢尾根取り付き口を見落とししたようだ。



(このような作業小屋?が点在している)



(上皇陛下御成婚記念の植林した杉・桧の林)

登山道はしばらく杉・桧の林の中を行くとトラバースルートとなり馬頭刈山へ向かっている。しばらくして馬頭刈尾根に合流する。



(馬頭刈尾根に合流)

馬頭刈尾根合流地よりしばらく快適な尾根道を行くと、当初登る予定だった泉沢尾根からのルートに出会う。



(泉沢尾根からの合流地点)



(泉沢尾根の方向)

泉沢尾根からの合流地点から少し行くと、馬頭刈山の頂上に到着する。
頂上は立ち木で視界はあまり良くないが、お天気も良く暖かい。ここで昼食を摂る。



(頂上での記念撮影 1)



(頂上での記念撮影 2)

馬頭刈山の頂上で30分休憩後下山する。
30分程下ると、ひっそりと高明山の頂上が見える。うっかりすると見落としそうだ。
この下に高明神社跡（現在、高明神社は麓に移設したようだ）がある。



(高明山の頂上)



(高明神社跡)

さらに20分程下ると軍道分岐に出る。「瀬音の湯」の方向は侵入禁止の紐が張ってある。
が、馬頭刈山頂上に最近の情報として「瀬音の湯方向へ下れる」とあったので、軍道分岐から瀬音の湯（十里木）方面へ下ることにする。

特に問題になる登山道の寸断とか崖崩れ箇所などもなく順調に下る。



(途中の吊り橋)



(わずかに望める馬頭刈山)

長岳のピークを通過し、その先から下ると「瀬音の湯」に到着する。
昔、雲稜祭の会場であった「長岳キャンプ場」は、今、「瀬音の湯」に変貌している。広い駐車場に多くの車が止まっている。



(長岳の頂上)



(「瀬音の湯」に到着)

「瀬音の湯」にて湯舟に浸かった後、バスにて武蔵五日市駅へ向かう。
その後JR五日市線にて拝島駅に出て、駅前の居酒屋にて反省会后無事解散した。

(参考) 本日ルート図 (赤のルート)



(国土地理院Webに記入)

(以上)